

合格体験談

北海道職員(警察行政)

【各学年でどのような勉強をしていたか】

1年生の時はとにかく興味のある教養科目を取りまくり、また単位の認定制度などを駆使してこれからの単位の心配を無くしました。また、公務員試験に通ずる基礎的な勉強ができる講義も取っていました。

2年生と3年生は専門科目を取りつつ公務員試験対策をしてくれる講義は必ず取っていました。ここで受けた講義が合格に大きく影響したと思います。

4年生はひたすら公務員試験の勉強をしていました。これまで公務員試験対策の講義で使っていたテキストやレジュメなどを周回しました。いくつか興味のある講義も単位目当てでなく内容を見たくて取りました。(3年間単位を履修上限いっぱいを取っておくとこのような暴挙ができます)

【公務員試験を受ける上で役に立った大学の講義】

職業を知る、職業と人生、論述・作文、公務員対策特別演習たちです。前3つは必修科目なので、最低限出席してればいいやと思うかもしれませんが、ちゃんと話を聞いておくと就職活動で楽できます。入室の礼などのマナーは練習している人としていない人でかなり差があると思ったので、ちゃんと出席するべきです！

【勉強が辛い時期があったか】

1次試験まで3カ月前なのに全然勉強が足りないと自覚したときに、本当に焦って腸炎になってしまいました。

【それをどう乗り越えたか】

腸炎は置いておいて、勉強は残りの期間で一番伸びそうな科目と、自分の理解が足りない科目を明確にしてそれを重点的にやりました。正直伸びしろがなく問題数も少ない科目は捨てました。その思い切りの良さと、今まで頑張ってきた自分を信じた結果、うまくいったんだと思います。

【大学時代もっと取り組んでおけばよかったと思うこと】

私は勉学に専念する！とあってアルバイトを辞めました(結果的に3か月後くらいにコロナ禍になったので運が良かったのですが)。ですが公務員試験の対策は、本来アルバイトをしている時間帯でもやらなかったもので、アルバイトはもう少し続けたほうがよかったかなと思いました。自分の勉強スタイル(長期的に勉強するタイプか時期が迫っていると頑張れるタイプか)を把握することで防げた失敗だと思います。

もう一つは、警察官も志望していたにも関わらず運動を全くしていなかったということです…ここから警察官に合格しなかった原因がわかりますね…

【面接の内容】

警察の組織のことを最初に問われ、警察でやっていけそうか系の様々な質問をされました(共同生活はしたことあるか、男社会だけど大丈夫かなど)。そしてメインは自分の話(長所と短所、志望動機など)でした。エントリーシートにある質問はもちろん、思いがけない質問もされます。

【面接対策としてやっておいた方がいいこと】

必ず先生や親などの第三者に面接練習をしてもらうことです。自分では完璧な答えだと思っても筋が通っていないことや、話し慣れていないことから変な言葉遣いになってしまうことを指摘してもらえますからです。私は予備校や有料の公務員講座を受けていなかったのですが、学校で面接練習をしてもらえてとても助かりました。ですので、公務員の1次試験に合格したら早めに先生に報告して、面接対策をしましょう。

【公務員合格のために大事だと思ったこと】

一番大切なことは、1次試験の勉強です。これに受からなければ公務員になるスタートラインに立てないからです。近年の公務員試験の面接は人柄重視の傾向がありますが、そのチャンスを掴むためにも1次試験に合格しなければならないのです。そのためには、1年生から高校の知識が抜け落ちないように公務員試験対策の講義を受けていきましょう。

また、あまり重視されない点ですが、精神面でのケアも大事だと思います。民間志望の友人や同じゼミの人は、早い人は4年生が始まる前から決まっていて、遊んでいるのがうらやましく感じられることがあると思います。私は勉強が足りなくて、1回目で受からなかったら2回目の狭き門を通過しなければならないんだと焦ったこともありました。これらの精神的な不安定さはモチベーションにもつながるので、どのようにコントロールしていくかも大事だと思いました。

【就活についてのアドバイス】

自分だけの力に頼らず、他の人の手を借りてよりよい就職活動にしましょう。例えば、面接で聞かれる自分の長所や短所は必ず悩むところだと思います。それは絶対に友人や家族などの長い付き合いがある人に聞いた方がいいです(お互いに照れくさいかもしれませんが)。

【メッセージ】

公務員は安定が売りの職業であり、民間のような福利厚生より圧倒的に良いものです。で

すがその安定はそれ相応の努力をしてきた人が得られるものです。公務員になりたいと思ったら、勉強をひたすらするしかないのです。しかし、四六時中勉強をしなければいけないわけではありません。アルバイトやサークル活動などで自分は何ができるのかとか、自分の得意な仕事などを模索したり、趣味や自分の好きなことを通じてどのような生き方をしていきたいかを考えたりする時間も必要です。最終的に面接でのネタ作りにもなるし、そこで自由な生き方をしたいと考えれば、自由な社風の企業への就職を目指すこともできます。

何が言いたいのかというと、1年生から絶対に公務員になるぞ！と意気込んで勉強しかなかったというのは後から苦しくなってしまうということと、途中で民間志望になってもそれは諦めたのではなく自分のライフプランを考えた結果なので、気落ちせずに大学生活を過ごしてほしいということです。

数年先が見通せない今日この頃ですが、それは他の人も同じです。数十年後に後悔しないように、有意義な大学生活を過ごしてくださいね。応援しています。